

ロイズタウン駅開業



3月12日、JR北海道としては20年ぶりとなる新駅「ロイズタウン駅」が開業しました。ロイズタウン駅内部の様子や、開業前に行われた完成記念式典、開業を記念して行われたイベントの様子をご紹介します。



3月10日

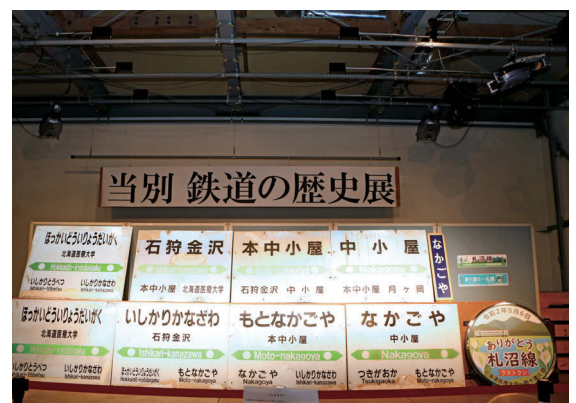
完成記念式典

3月12日の開業に先立ち、ロイズタウン駅完成記念式典が開催されました。多くの報道陣が詰めかける中、後藤町長をはじめ、株式会社ロイズコンフェクト 山崎泰博代表取締役社長、北海道旅客鉄道株式会社 島田修代表取締役社長が出席し、テープカットが行われました。

3月8日～13日

鉄道の歴史展

ふれあい倉庫では、当別歴史ボランティアの会の協力による札沼線の歴史や当別殖民鉄道、江当軌道のパネル展示や、札沼線廃止区間のホーム駅名板が展示され、まちの歴史を懐かしむ方や鉄道ファンが訪れていました。

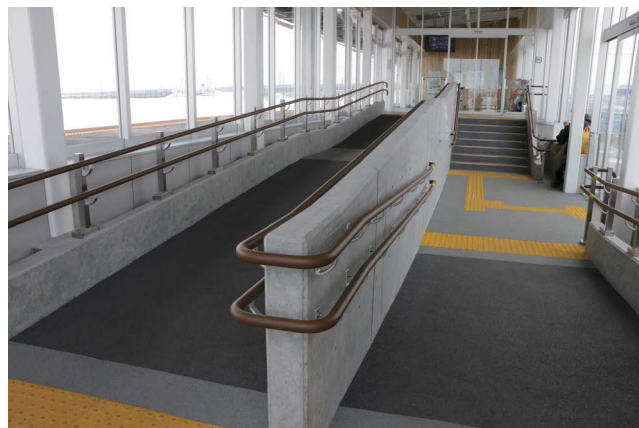


廃止区間のホーム駅名板と廃線時のヘッドマーク

ロイズタウン駅内部を紹介！

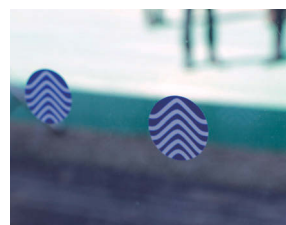
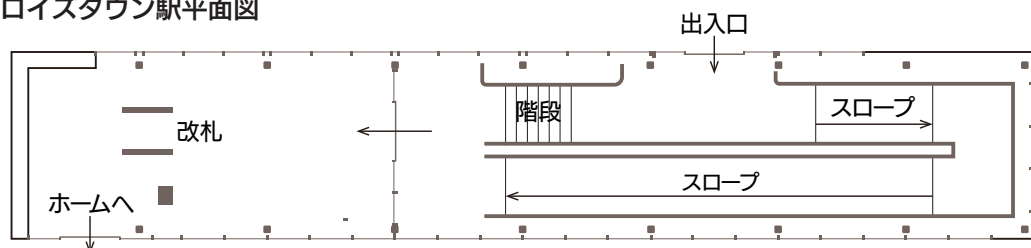


落ち着いた雰囲気を出す白樺の板壁



スロープが完備され、バリアフリーに対応

ロイズタウン駅平面図



ガラスの衝突防止マーカ―はロイズピュアチョコレートのデザイン

3月12日

ロイズタウン駅開業記念 「ラベンダー」編成 特別列車運行

3月12日の開業日には、ロイズタウン駅の駅舎や、学園都市線初登場となる「ラベンダー」編成車両を一目見ようと、多くの見学者で賑わいました。

当日夜に開催されたオンラインツアーでは、「ラベンダー」編成車両やロイズタウン駅のほか、当別の観光情報も紹介されました。



オンラインツアーの様子



ロイズタウン駅に入線する「ラベンダー」編成車両



当別町民限定の体験乗車では子どもの参加もありました。

